

## 令和6年度第1回西蒲区地域公共交通検討会議 会議概要

### 1. 開催日時

令和7年1月28日（火） 午前10時00分～午前11時00分

### 2. 会場

新潟市西蒲区役所3階 302会議室

### 3. 出席者（敬称略）

#### 【構成員】

#### ・出席

西蒲区自治協議会 吉田 金豊

田中 弘信

大橋 達一

国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局輸送・監査部門

運輸企画専門官 山岸 拓人

新潟県西蒲警察署交通課 課長 渡邊 正人

新潟県ハイヤー・タクシー協会下越南部地区 代表 星山 洋一

（弥彦タクシー株式会社 代表取締役）

新潟交通観光バス株式会社運行課 課長 野俣 昌幸

ウエスト観光バス株式会社 代表取締役 小林 大輔

新潟市都市政策部都市交通政策課 主幹 佐久間 洋平

新潟市西蒲区役所地域総務課 課長 高橋 裕

新潟市西蒲区役所建設課 課長 田辺 匠逸

#### ・欠席

太陽交通新潟有限公司

#### 【事務局】

新潟市西蒲区役所地域総務課 3名

#### 【傍聴者】

0名

### 4. 会議概要

#### （1）開会

#### 【事務局から本会議の位置づけについて説明】

- ・本会議は、西蒲区地域公共交通検討会議開催要綱第1条に基づき、持続可能な地域公共交通網の形成に向けて、西蒲区のまちづくりと連携し、地域の実情に応じた地域公共交通のあり方について、市民や関係者との協働により検討するために、意見交換するもの。
- ・今回は、新たに策定する「西蒲区生活交通改善プラン」に関することを中心に意見交換を行う。

## (2) 議事

### 【説明】

- ・事務局から「(1)『西蒲区生活交通改善プラン』の策定について」を、資料2『西蒲区生活交通改善プラン』の策定について、「西蒲区生活交通改善プラン(案)」に沿って説明。

### 【主な意見・質疑の概要】

- ・弥彦村などでは自動運転車両が運行されている。自動運転の技術は、加速度的に向上していくと思われるので、遅れをとらないように準備を進めてもらいたい。(西蒲区自治協議会)  
⇒弥彦村や佐渡市など他都市での実証実験の情報収集をしているが、車両などの導入・維持費用や運行など多くの課題があり、現状では、市として実施は難しいと考えている。引き続き、情報収集などを行っていく。(都市交通政策課)
- ・公共交通の満足度が低い理由をしっかりと分析すべき。利用者の意見を聞くことも重要なのではないか。また、他の区や市町村と隣接している地域における生活交通の検討については、境界を越えて検討いただきたい。(西蒲区自治協議会)  
⇒移動手段については、各地域の実情を踏まえて、地域が主体となって検討していく必要があると考えている。区も検討の場に参加して一緒に考えていきたい。(事務局)
- ・西蒲区で生活しているとバスに乗る機会が少ないため、バスに乗ること自体に抵抗があるのが現状。そして、年齢が上がるほどそのような傾向があるため、運転免許証を返納しないという悪循環になっている。コミュニティ協議会など、地域とも力を合わせながら、若者も含めて、バスに乗ることを選択肢に入れてもらえるような取り組みが必要ではないか。(西蒲区自治協議会)  
⇒地域にも協力いただきながら、子どもや高齢者などをターゲットにして、まずはバスに乗るきっかけづくりに取り組んでいきたい。(事務局)  
⇒今年度から「未来に向けたバス利用促進事業」として、中高生世代を対象に3,000円分の回数券や定期券購入補助を行っている。結果を分析し、効果を検証していく。(都市交通政策課)
- ・西蒲区でのライドシェアについて検討いただきたい。(西蒲区自治協議会)  
⇒南区の旧白根市区域で実施されているライドシェアは、既存タクシーの補完という位置づけで、実施主体は地域のタクシー事業者。実施のきっかけは、地域のタクシー事業者からタクシーが不足しているなどの申出があったこと。県や市は申請にあたり条件緩和のため協力する形となった。今後、県内でもライドシェアは広まっていく可能性があるが、市としては、まずは南区の利用状況を注視していきたい。(都市交通政策課)

・西蒲区内を運行している路線バスや区バスは、ほとんど人が乗っていない印象。それは、P R不足もあるのではないか。(西蒲区自治協議会)

⇒バスを含めた公共交通に関する情報の発信について、引き続き強化して取り組んでいく。(事務局)

・J Rについて、内野駅から巻方面の便数が少ないことが気になっている。(西蒲区自治協議会)

⇒以前、J Rの内野駅から巻方面の増便実験が行われたが、利用者が少なく、現状維持という結果となったと聞いている。(事務局)

・西蒲区は観光に力を入れて取り組んでいるが、にしかん観光周遊ぐる～んバスの収支率ほどのくらいか。観光客が中央区から西蒲区へ行きたいとなった時の利便性はどうか。(西蒲区自治協議会)

⇒にしかん観光周遊ぐる～んバスの収支率は、令和4年度は29.5%、令和5年度は30.7%で増加傾向。いただいたご意見は、担当している産業観光課へ伝える。(事務局)

・タクシーの台数が少なくなっているような印象で、昔よりも乗りたくても乗れない。(西蒲区自治協議会)

⇒南区の旧白根市区域で実施されているライドシェアは、週に3台程度の利用状況と聞いている。バス路線が廃止になるとタクシーの活用と言われるが、タクシー運転手の現状としては、70代を超える方もおり高齢化が進んでいて、夜の勤務は見えづらいため難しかったり、家族が心配して退職したり、人員確保が困難な状況。(新潟県ハイヤー・タクシー協会 下越南部地区)

・既に、web等で利用できる乗換案内システムの「駅すぱあと」では、区バスについて検索できるとのことだが、引き続き、利用しやすいサービスの提供の強化に努め、いつでも手軽に情報を入手できるように取り組んでもらいたい。(西蒲区自治協議会)

⇒西蒲区生活交通改善プラン(案)の第6章 西蒲区の具体的な交通施策に追加する。(事務局)

### (3) その他

・なし

### (4) 閉会

以上